令和7年度 府中市立矢崎小学校授業改善推進プラン(各学年の取組) 第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2 学期末	年度末
国語	①書く内容を考え、始め、中、終わりの内容のま とまりを吟味し、文章の構成を考えること。	①自分が何を言いたいのかを明確にして作文メモを 用いて書き表し方を工夫することができるように させる。【発見】		
	②友達や自分の文章を読み、文章の書き方のよい ところを見付け伝えること。 ③文章を書く時に習った漢字を使うこと。	②文章を読み合い、感想を伝え合うことで自分の文章のよさを見付け合う。【対話】 ③国語辞典や漢字ドリルを見て普段から漢字を使う 習慣をつける。【表現】		
算数	きるようにして、日常生活や学習に活用しよう とすること。	①2けた、3けたの計算に加えて、けた数の多い計算に触れさせることを通じて、計算はいずれも一定のアルゴリズムによって行われることを理解させる。【発見】②一つの問題に対して、式だけでなく、絵や図を使		
理科		①自然の中や日常生活から感じる疑問や既習事項をもとに気付いたことなどから問題を見いだすことができるようにさせる。【発見】 ②予想や結果をグループで話し合い、共有することで、自分の考えをもち、深められるようにさせる。 【対話】【決定】【表現】		
社会	が主体となって単元の課題を設定すること。 ②資料から読み取った事実から、課題について考	①単元の課題を身近なことに感じられるように、府中市の学習を生かしたり、日常生活の体験をもとにしたりした資料の提示をする。【発見】【決定】②課題について考えを深められる資料を提示し、資料から読み取ったことについて、他者と考えを伝え合う活動を入れる。【表現】【対話】		
音楽	①歌唱においては、伸びのある響きのある声で歌 うこと。 ②リコーダーや鍵盤楽器など楽器の奏法を習得 すること。	①多くの発声方法や様々な楽曲を取り入れ、曲に合った歌声を出すことに慣れるようにさせる。【発		
図画工作	げること。 ②作品のテーマや構成を、作例に頼らず、自分自	①各題材における様々な表現技法について、その良さを感じながら習得できるよう指導すると共に、これを活用できる場面を他の題材内で設定する。 【表現】 ②全体への作例提示を止め、必要な児童に適宜提示すると共に、自分自身の興味関心を振り返る時間を設け、これを基に作品のテーマを決定できるよう指導する。【決定】		
体育	投げ、飛ばす距離を伸ばすこと。(R7 体力テストの結果より、投げる・筋力・瞬発力を中心に)	①単元導入前の体つくり運動を充実させ、基本的な動きを身に付けさせる。【発見】 ②導入時に身に付けたい力を意識させ、学習カードや掲示物を活用し、自分の課題を見付けさせる。		

[※]達成の状況は、A: +分達成できている、B: 概ね達成できている、<math>C:あまり達成できていない、D:達成できていない で、2 学期末、年度末に評価する。